

平成29年度 倫敦日本人学校だより 第6号10月3日

みんなが輝き、伝統をつないだ文化祭

校長



爽やかな実りの秋となりました。第41回文化祭には、多数のご来賓、保護者の皆様方にご来校いただき心より感謝申し上げます。

おかげさまで、子どもたち一人ひとりの努力が輝く、すばらしい文化祭を開催することができました。心より感謝申し上げます。

小学部は、各学年がそれぞれ内容に工夫を凝らした舞台劇を発表しました。1年生は、コミカルな演技で「しんせつせんたい1 ネンジャー」を元気よく演じました。2年生は、お互いを認め合い仲良くすることの大切さをテーマにした「ヒュードロンおぼけ学校」を楽しく演じました。3年生は、「思いやり」「優しさ」「感謝」という温かい心をテーマに「魔法をすてたマジョリン」を仲良く演じました。4年生は、主人公の様々な心情の変化を通して、努力することの大切さを表現した「セロ弾きのゴーシュ」を情感豊かに演じました。5年生は、何事にも希望をもって取り組むことの大切さ、そして、友情のすばらしさをテーマにした「嵐の中の子どもたち」を英語を交え、表現豊かに演じました。6年生は、「大切なもの」「かけがえのないもの」は何かを問いかける「最後のレストラン」をユーモアを交えながら最高学年らしい実力で演じました。

中学部は、オリジナル脚本による劇「世界に架ける虹の橋」を発表しました。あたりまえのように学校生活を送っている日本の中学生が、1人の転入生との出会いをきっかけに世界の現実に目を向け、自分たち自身の姿を見つめ直していくというストーリーを、中学部の生徒が心を込めて演じました。生徒たちの団結と協力で、本校の伝統を継承するすばらしい劇と合唱を披露することができました。

また、軽音楽部の発表「Let's enjoy music!」や舞台を支えた係の子どもたちの活躍にも、目を見張るものがありました。一人ひとりが主役として、自

分の役、自分の係の活動に積極的に取り組んだ子どもたちを多くに称えたいと思います。

今後は、文化祭の取組を通して学んだことを、これからの学習や生活に生かし、日々の活動に挑



戦してくれることを期待しています。衣装等でご協力いただいた保護者の皆様、受付や駐車場係でお世話になりました保護者の会の皆様及びボランティアの皆様、誠にありがとうございました。

進路希望実現に向けて

10月に入り、中学部3年生や小学部6年生は、自分の進路を決める大切な時期を迎えました。本校では、お子様がそれぞれ希望の進路を実現できるよう、ご家庭と連携、協力を密にしながら支援に努めてまいります。

「受験は団体戦」とも言います。本校中学部3年生は、「全員志望校合格」を目指し、学年全体が一丸となって互いに励まし合い、切磋琢磨しながら努力しています。一人ひとりが目標とする進路希望の実現に向けて、前向きに、ひたむきに努力してほしいと思います。

日曜参観日のご案内

本年度も、日曜授業参観を実施いたします。保護者の会主催によるバザーも計画されています。保護者・ご家族の皆様のご来校を心よりお待ちしております。

- 1 期日 平成29年10月29日(日)
- 2 日程 9:00~9:45(中学部 9:50) 1校時
9:55~10:40(中学部 10:45) 2校時
10:45~11:00 帰りの会
11:05 完全下校
- ☆ 保護者の会主催バザー 11:30~1:00

★ 英会話担当教員の異動についてのお知らせ

Amanda Walker 先生が病休の為、新しく Tatyana Mackenzie 先生が着任していますのでお知らせいたします。

かわいかった動物たち

9月1日(金)に小学部1,2年生は、ハンウエルズへ写生大会に出かけました。動物園では、アルパカ、フラミンゴ、クジャク、ツル、ヤギ、カピバラ、ミーアキャット、カメの中から描きたい動物を選び写生を行いました。元気に動き回る動物や、寝ている動物、顔が見えない動物などがあり、描くことが難しそうでしたが、動物たちのご機嫌を伺いながら、心に残ったしぐさや様子を絵で表現しました。実際の色に近づけようと、クレヨンを何重にも重ねて色を塗ったり、指でこすってぼかしたりするなど、試行錯誤をしながら描くことができました。

午後からは、動物園内をクラスで周り、いろいろな動物を観察しました。普段なかなか見られない動物たちに大興奮の子どもたち。特に、動物たちが近寄ってきたときには、「こっちに来てくれた!」と歓喜の声を上げていました。

後日、授業で写生した動物のイメージに合わせて背景を塗りました。いろいろな色を使い、明るいイメージにしたり、たくさんの水玉模様を描き、優しいイメージにしたりと工夫を凝らした作品に仕上げることができました。



キューガーデンでの写生大会

9月1日(金)の写生大会で、小学部3年生から中学部3年生は、キューガーデンへ行きました。

小学部3年生から6年生はキューパレスを描きました。3,4年生はキューパレスを正面から、5,6年生は斜めから立体的に描きました。

子どもたちはキューパレスの壁や窓、屋根などをじっくりと観察しながら描いていました。3年生は初めての水彩絵の具での彩色、さらに4年生は三原色と茶、5年生以上は三原色のみでの彩色に挑戦しました。キューパレスの鮮やかな赤レンガの色を表現しようと、試行錯誤しながら色作りをする様子が見られました。キューガーデンを訪れた方もこやかに写生の様子を見ていました。



中学部はパームハウスを描きました。生徒がまず直面したのは、ガラス張りの巨大な温室をどうやって画用紙上に表現するかという問題でした。しかし、指のファインダーをのぞいたり友達と相談したりしながら構図を決めると、美術の授業で学習した「近景」「中景」「遠景」の知識や遠近法を駆使しながら、曲線と直線の混在するこの建物を着実に形にすることができていました。

写生大会では時間をかけて一つの絵を仕上げていきます。じっくりと観察して描いた今回の風景は、忘れることのない思い出になったと思います。

部活動交流

9月9日(土)に、帝京ロンドン学園との部活動交流会があり、今年も多くの子が参加しました。帝京ロンドン学園に着くと、生徒や先生方が出迎えてくださいました。初めに、部活動ごとに校内を案内していただき、その後交流戦を行いました。バスケットボール部は、男女別に、試合を行いました。男子は、高校生のスピードとパワーに圧倒されながらも懸命にプレーし、練習の成果を出し切りました。女子は、ドリブル、パスと基本に忠実にプレーしました。男女ともに人数が少なく試合を重ねるごとに疲労の色が濃く見られましたが、チームワークを大切に試合をしていました。テニス部は、ダブルス、シングルの試合を行いました。ダブルスでは、息の合ったプレーで前衛、後衛の連携が見られました。シングルスでは、コートの端ギリギリを狙ったサーブや相手の意表をつくボレーなど技術を駆使した試合をしていました。フットボール部は、25分ハーフの試合と15分間の延長戦を行いました。高校生に胸を借りるという挑戦者の気持ちで臨み、高校生との体格の違いに圧倒さ



れながらも、きれいなスルーパスから先取点を奪い取ることができました。その後、一緒に昼食をとり、親睦を深めました。

多数の保護者の皆様にも参観、応援をしていただき、生徒たちは励みになったと思います。スポーツを通して高校生との交流を深めた今回の部活動交流は、生徒の思い出に残るとてもよい経験となりました。